

パブリックコメントに寄せられた意見

「オンリーワン徳島」の実現を目指すための「新行動計画（概要案）」について、平成19年4月26日から5月25日までの間、パブリックコメント制度による意見を募集し、32名の方から204件の意見・提言を頂きました。

【内訳】	基本目標1「オープンとくしま」の実現に関する事	(11件)
	基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現に関する事	(43件)
	基本目標3「環境首都とくしま」の実現に関する事	(27件)
	基本目標4「安全・安心とくしま」の実現に関する事	(17件)
	基本目標5「“まなびや”とくしま」の実現に関する事	(19件)
	基本目標6「“みんなが”とくしま」の実現に関する事	(17件)
	基本目標7「“にぎわい”とくしま」の実現に関する事	(68件)
	その他（計画全般や長期ビジョンに関する事など）	(2件)

頂いた意見・提言は以下のとおりです。

基本目標1「オープンとくしま」の実現に関する事(11件)

「関西州」の道州制を視野に入れた「関西広域連合」の設立と、徳島県における関西州の道州制の導入

県が、徳島市・鳴門市・小松島市・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町・石井町・神山町・勝浦町・上勝町・佐那河内村の三市九町一村で構成する「徳島東部広域連合」の設立の支援を行い、徳島市の「中核市構想」の実現をめざす。(例：木曾広域連合)

徳島県が企画・制作を行う徳島県総合情報誌の発行

徳島県総合政策局における企画、立案、調査、分析の業務の強化。徳島県総合政策局に属する県職員の「企画業務型裁量労働制」の適用の実施。

「徳島版市場化テスト」により民間からの政策提案型募集による公募制度の導入

徳島からの政策提言が「ジャパンスターダート」から「ワールドスタンダード」になるように「徳島スタイル」の進化

徳島県が出資をしている土地開発公社、農業開発公社、住宅供給公社の解散

徳島県債をニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所、上海証券取引所、香港証券取引所の海外市場にて発行する。

ボランティアがしたくても、若い人はどこに行けばいいのかわからない。インターネットで調べれば、どこに聞けば、どこへ行けばいいのかわかるようにすればよい。

NPOの活動の場として指定業者管理制度を活用する手もあるが、時間もかかり、請け負った側のNPOの荷が重く、資金運用面のリスクが多いという問題を行政に知ってほしい。

地域社会を良くするためには、行政だけではなく、地域住民の参加が不可欠であり、「共感と協働による地域づくり」を進めるため、地域活動に参加する住民の参加率が向上することを目標に取り組んでほしい。

基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現に関すること(43件)

大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、京都府、京都市、和歌山県等との連携の強化による京阪神経済圏への参入で徳島県の経済発展に繋げる。

徳島県が四国の玄関口の交流拠点として四国各県、瀬戸内圏、関西圏・東海圏、首都圏との広域連携の推進によって徳島県の発展に繋げる。

四国州の道州制の導入を視野に入れた「四国州経済構造改革特区」の導入

関西州の道州制の導入を視野に入れた「関西州経済構造改革特区」の導入

「LEDバレイ構想」の実現に向けてアメリカのシリコンバレー、筑波研究学園都市、関西文化学術研究都市との連携。また、「徳島LEDバレイ構想」と「関西シリコンベイ構想」との融合を図る。

徳島県がJリーグチームの所在地の都道府県及び政令指定都市との地域間交流経済交流を行うことで地域の活性化を推進する。

中小企業基盤整備機構 四国支部 徳島事務所の開設 日本政策投資銀行 四国支店 徳島事務所の開設

徳島県と阿波証券、徳島合同証券等の証券会社との連携で県内企業向けの「証券市場グリーン・シート市場」によって県内企業の株式公開による証券市場における株式上場への支援を行う。

徳島県に所在地が在る企業等への投資を行う投資信託(とくしま・ご当地ファンド)の発行(日亜化学工業、大塚製薬工場、阿波製紙、四国放送、ジャストシステム、四国システム開発、テック情報)

「とくしまCLO(ローン担保証券)」の導入による県内企業の無担保事業資金の確保の支援技術のある中小企業支援や県内業者へ優先発注することにより、中小企業の活性化が図れるのではないかと。

県民各人に余暇が少ない。スポーツや地域活動に参加できる余暇・余裕を持てるよう、労働環境の見直しをしてほしい。余暇は、企業側には、新規事業へのアイデア、情報源をもたらす。個人レベルでも、地域活動やボランティア、NPO活動など新たな活性化をもたらす。

企業立地の促進のために各工業団地と徳島自動車道、重要港湾、徳島空港との間を結ぶ陸・海・空の交通基盤整備のネットワークの強化

百人以上雇用できる企業の百社以上の企業立地による「徳島県1万人雇用事業」の実施

「LEDバレイ構想」の実現に向けて半導体産業、デバイス産業の企業立地

国内外のIT技術者が集う「とくしまITタウン」の創設

日本IBM、日本HP、NEC、富士通、沖電気等の研究所の企業立地

徳島県にボーイング社、三菱重工業、川崎重工業、富士重工業等の航空機産業の企業立地。また、同じくヨタ自動車、本田技研工業等の自動車産業の企業立地

ロボット産業の企業立地(家事ロボット、介護ロボット、防災ロボット等の研究開発)

アニメ・コンテンツ産業の企業立地

人口減少・少子化対策のためには、若者が県内に留まり生活できるようパートやアルバイト方式の雇用システムを廃し、正規従業員として安定した賃金で長期に働ける職場づくりが必要。

「徳島県立職業能力開発総合大学校」の開校によって職業能力開発の拠点とする。

基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現に関すること(つづき)

若者のニートには、職業内容が自分に合わず早期に離職した人が多いと思われます。このため、これら早期離職者に親身になって相談に乗り、本人の適正にあった職業を斡旋できるような体制づくりが必要ではないでしょうか。

「徳島県雇用開発推進機構」の創設

徳島県の企業立地の促進のために帝国データバンク徳島支店、東京商工リサーチ徳島支店の企業情報を活用する。徳島県と帝国データバンク徳島支店、東京商工リサーチ徳島支店との連携で県内のハローワーク又は徳島県就労支援プラザへの企業情報の情報提供を行う。

「とくしまブランド」向上プロモーション事業の開始

地場産品の販路拡大のために「ビジネスサポーター制度」の創設によって中小企業の活性化を図る。

「とくしまSBIR(中小企業技術革新制度)」の導入による新商品、新役務、新技術開発の支援
地元コンピュータソフトウェア会社による地域振興(四国システム開発、日本システム開発、テック情報等)

ものづくり企業の競争力を促進する「とくしま知的財産戦略」の推進

徳島県に一兆円企業を作る。(愛知県のトヨタ自動車、広島県のマツダ、静岡県のスズキ、兵庫県の神戸製鋼所)

工業技術センターと技術士、弁理士との連携

徳島県を「関西の食料供給基地」としての「とくしまブランド」の確立を行う。(「新鮮なっ!とくしま号」の近畿農政局でのPR等)

徳島県が「関西の台所」として「徳島ブランド」を大阪・黒門市場、京都・錦市場、神戸・新鮮市場の京阪神市場において位置づけがなされるようにする。

徳島-東京線の航空便を利用した「フライト野菜」の拡大と「フライト活漁」の実施

「農林漁業立県とくしま」の実現

「関西広域機構」における農林漁業の作業部会の設置

徳島県産の「とくしまブランド」の大韓民国、中華人民共和国、台湾、香港、ベトナム、タイ王国、フィリピン共和国、マレーシア、シンガポール共和国、インドネシア共和国等へ総合商社を通じて海外市場への販路の拡大を行う。

農業生産法人、会社法人(株式会社等)で大規模農業経営を行う組織への徳島県の支援体制の整備

認定農業者、女性農業者、集団営農組織、新規就農者等の農業、漁業、林業の多種多様な担い手の確保又は人材の育成

休耕田や転作田を建設会社の協力により水田に復活させて阿波尾鶏、阿波牛、阿波ポーク用の飼料米やバイオエタノール用の燃料米をつくる。

「林業飛躍プロジェクト」は、個々の数値目標の達成も大切であるが、「長期ビジョン」にある安心して豊かな暮らしのできる山村社会の実現の大目標の達成のために取り組んでいただきたい。

「漁業立県 とくしま」の推進のために「徳島県の魚」の作る。(例:「香川県の魚」は、はまち)

基本目標3「環境首都とくしま」の実現に関すること(27件)

バイオガソリンの普及促進

サトウキビ・トウモロコシ・木材等を原料とするバイオエタノールの利用開発がされているが、コスト面・市場価格・環境の点で課題もあるので、今後官民による研究が必要。

「太陽光発電システム」の普及促進

風車エネルギーや太陽光熱を利用する施策を、優先して取り組む。

県庁舎への「緑のカーテン」の設置

JR徳島線にハイブリッド自動車又は水素燃料電池自動車の導入

自動車に乗らない日を月5日に設定し、公共交通機関の利用を促す。また、停車中はエンジンを切る、始動や運転中の強いアクセルの踏み込みを止めるなどエコドライブを推奨する。低公害車の積極的利用推進の指導と税の優遇措置を設ける。

「アイドリングストップ運動」の推進

CO₂削減の見地から、一家に1台の車の使用制限をするように国民運動を展開し、また、鉄道の貨車以上の大型貨物車が走らないよう企業を規制するなど、国に働きかけてもらいたい。

「とくしまマイバッグ運動」全県展開、「とくしまエコファミリー制度」創設等で持続可能な県民生活スタイルの定着を目指す。

過剰包装を控えるよう業者に協力を願う。また、風呂敷・買い物袋・皿やビンを持って買い物をする社会システムに変えるよう県民や業界を指導し、缶・ビンの野外放棄を防止するため街中の自販機の在り方を研究していく。

「とくしま・もったいない運動」により出さない、減量、再使用、再生活用の普及促進を行う。

「マイ箸運動」の全県展開

「リサイクルプラザ」の設置・「エコショップ」の普及

徳島県が環境マネジメントに関する国際規格「ISO14001」の市町村、企業等に対して認証取得の支援を行う。

「徳島全県花いっぱい運動」の展開、「国営鳴門海峡公園」の誘致、「国営吉野川公園」の誘致、「フラワー公園」の整備、「フラワーロード」の整備

風景街道については、行政の縦割りの枠組みを超え、また市民活動と連動し取り組んでほしい。《例》景観を損ねている消波ブロック、遊歩道のトイレや看板、サイクリングロードの整備等県民参画の「ふるさとの木100万本植栽事業」の実施

「環境先進企業との協働の森づくり事業」の実施

森林環境税の導入による財源を元にして「森林保全事業」や「緑の雇用事業」を行う。

徳島県立神山森林公園を「野鳥の里」として整備を行う。

河川やため池の泥を蒸し焼きにした炭を肥料として田や畑に活用し河川等の水質浄化や水質改善を図る取組みを行う。

水田をイトミミズ、ハウネンエビ、アメンボ等の住む「生き物の宝庫」にする。

ビオトープや休耕田を利用した「トンボの郷自然公園」又は「ホテルの郷・自然公園」を作る。

鳴門海峡をユネスコの「世界自然遺産」への登録

徳島は、世界的にだるま朝市の出現頻度の高い地域である。だるま朝日のイメージは、未来の希望を想起させ、日出づる所としての徳島のイメージにつながる。新行動計画に「だるま朝日」を取り上げていただきたい。

定期的に海水浴場の水質を検査しその数値を表示するなど、数字の裏付けによって徳島の自然環境のレベルの高さを表現すべきである。

基本目標4「安全・安心とくしま」の実現に関すること(17件)

「徳島県防災安心基金」の創設

「10万人対応防災用備蓄品」の整備

県内のすべての市町村消防本部に双方向のデジタル同報防災無線を整備

日頃から大火災・台風・地震等の対応についての心掛けを家庭で固め、講習会や訓練を実施して近隣・地域との互助感覚を備え人的つながりを作って、非常の際迅速な行動が取れるよう心構えができるよう行政の指導が必要。

救急艇の導入(海の救急車)

80歳以上の高齢者には、事故等を考え運転免許証を与えない法改正(特例や聖域を作らない)を国に働きかけてはどうか。

交通弱者(高齢者・子供・自転車)のために徳島市内バス路線に歩道を整備すべきである。

《例》田宮街道の西地区の一部、徳島宮倉線の内浜 - 西須賀間と国道438号の旧亀井病院前から上八万町下中筋間は歩道がなく自動車通行量も多く自転車、歩行は極めて危険である。将来、南環状線が出来れば、以上の当該区間に歩道を設け、1車線一方通行運行にしてみよう。自転車道や歩道もないところでは、自転車に乗っているとよく自動車に怖い目にあう。お年寄りや障害者の方にも通りやすい、歩行者、自転車にやさしい道路づくりが必要。

徳島県立中央病院に関すること

- ・「徳島県立中央病院」と「徳島大学病院」との医療連携による高度先進医療を行う「とくしま高度先進医療構造改革特区」の創設
- ・「県立中央病院」と開業の保険医との診療科目ごとの医療連携の強化
- ・「新県立中央病院」にドクターヘリの配備による広域救急医療体制を整備
- ・労災指定病院の「県立中央病院」が「産業医科大学病院」からの研修医派遣の受け入れ体制の整備を図る。
- ・「徳島県立中央病院」と「自治医科大学病院」との医療連携

がん医療に関すること

- ・都道府県がん診療連携拠点病院としての「県立中央病院」における悪性腫瘍の遺伝子診断、悪性腫瘍に対する粒子線治療等の高度先進医療の実施
- ・「県立中央病院」においてがん治療の化学療法を専門的に行う「血液・腫瘍治療センター」の開設
- ・「徳島県立中央病院」に「癌研究会有明病院」からのがん専門医の派遣
- ・「徳島県立中央病院」と「財団法人がん研究振興財団」とのがん治療における連携
- ・「県立中央病院」と「国立がんセンター中央病院」、「国立がんセンター東病院」、「四国がんセンター」とのがん治療の連携
- ・「新徳島県立中央病院」にがん患者のための「がん専門病棟」の設置又は「がん緩和ケア病棟」の設置
- ・徳島県内の地域がん診療連携拠点病院としての保険医療機関の病院の拡充と整備
- ・「徳島県立がんセンター」の開設

徳島県立こども医療センター」の開設。「徳島県立成人病センター」の開設。「とくしまネットワーク保険医療機関」の構築。

「とくしま中山間地等医師巡回制度」(「徳島型地域ホームドクター制度」)の導入

「健康立県とくしま」の実現、「とくしま県民健康づくり運動」の推進

徳島県が「徳島県民健康管理手帳」の発行によって県民の健康管理の向上を図る。

糖尿病日本一という不名誉を返上するため、食生活・嗜好品の見直し、歩く運動の促進、マラソン道の設定が必要。特に、糖尿病は他の疾病にも関与するうえ国民医療費の占める割合も高いので、この不名誉な日本一の挽回のため、努力目標を中位置まで引き上げるべきある。

保健医療政策の方向性として、がん対策や生活習慣病対策を中心とする疾病治療から、疾病予防を重視

定期健康診断による疾病の早期発見、生活習慣の見直し等、医師等による保健指導の充実

基本目標5 「「まなびや、とくしま」の実現に関すること(19件)」

徳島大学の総合大学化と看護学部の新設(総合科学部を人文学部・社会科学部・理学部に分離)

若者の県外大学志向の高まりが人口減の原因になっており、県内大学の魅力アップに向け質の高い学問や学部の設立、技術が習得できるようにする。

徳島県の県内の公立小学校、公立中学校公立高等学校に大手予備校(駿台予備校、河合塾等)又は大手塾(希学園等)の協力を得て土曜日に講師の派遣による補習授業を行う。

徳島県の県内の公立学校の先生が大手予備校や大手塾で春休み、夏休み、冬休みに教科教育や教科指導の研修を受けるようにする。

首都圏又は関西圏から有名私大の附属の中高一貫校の誘致

学力強化指定校や進学強化指定校の設置によって学力や進学の向上を図る。

地域の老人達が伝統芸能や昔の遊びなどを小・中学生に教えることで、郷土や地域の人々を愛する子供を育成してはどうか。

団塊の世代の退職に伴い暇となる私達が、コミュニティスクールなどで孫達と遊びつつ地域に貢献できる仕組みがあれば、子どもたちのためにも老後の生きがいにも役立つ。

子供を不審者から守るため、地元の人たちのボランティアによる安全パトロールを強化する仕組みを整えてほしい。

南部総合県民局及び西部総合県民局の各総合県民局に徳島県教育委員会部局(地域教育事務所)の新設

「とくしま人づくりファンド」の新設によって徳島の人材力を高める。

「徳島県立総合大学校」の中に「徳島県立子育て大学校」、「徳島県立男女共同参画大学校」、「徳島県立消費者大学校」、「徳島県立地域づくり大学校」、「徳島県立観光大学校」、「徳島県立環境大学校」、「徳島県立健康づくり大学校」等の開校を行う。

「徳島県立図書館」が「国連寄託図書館」の指定を受けて国連刊行物の受入れを行う。「徳島県立図書館」が「国立国会図書館」、「国立国会図書館関西館」と図書情報での提携を行う。

「徳島県立図書館」が「筑波大学図書館情報学群」と図書教育での提携を行う。

「徳島県立図書館西部分館」を三好市に、「南部分館」を美波町において開館を行う。

徳島県と「東京工業大学附属図書館」との連携により、「徳島県立図書館」及び「県立学校図書館」における電子図書館サービスの開始

青少年センターの再編は、これまでの機能や、徳島の未来を拓く青少年の育成の機能をより発展的に継承し、充実してほしい。

核家族でなく、祖父母との三世同居を推奨すれば、二重世帯による経済負担の軽減、留守番役、孫の登下校のサポート、しつけ面、いじめや孤独の防止、地域との人間関係なども良くなる。「二世住宅構想」を推進すれば、田畑をつぶして道路や住宅を作る必要もなくなる。

乳幼児医療で大変助かっています。これから子育てする後輩のためにも、さらにプラスをしてほしい。

地元の保育所等で、子育て情報の提供、育児相談ができる環境を整備し、よりよい子育て環境をつくって欲しいです。

基本目標6 「“みんなが、とくしま”の実現に関すること(17件)」

「男女共同参画立県とくしま」の実現に向けて中央官庁の女性官僚を徳島県の女性副知事（男女共同参画担当及び青少年担当）として起用する。

少子化対策で重要なことは、仕事と子育ての両立が必要であると思いますので、企業における職場づくりや家庭、地域における子育てに対する理解を深めるような取り組みを進めてほしい。

DVによる被害が増えているので、駆け込み寺としての支援センターの充実や社会的な啓発事業を積極的に行い、被害の現象を減少させることが必要ではないでしょうか。

働く親が子供をつくりやすい環境、子供をもつ親が働きやすい環境をつくるため、企業が子育てしやすい環境をつくる必要がある。

子供を生んでも復帰しやすく、育児にも理解がある職場というのはなかなかありません。民間企業でも女性が安心して働けるような社会になればと思います。

女性が働きやすい職場環境を押し進めるような施策を行ってほしい。

県が生涯学習教育に力点を置かれている「シルバー大学院」構想を更に拡大して、質・量とも充実したものにして高齢者に夢と安らぎを与えて欲しい。

団塊の世代が大量に退職しはじめている中、高齢者が生きがいを持って働ける機会をつくってもらいたい。

高齢化社会の中で経済成長を続けるためには、熟練した技術を有する高齢者が不可欠であり、高齢者の就業機会の確保・増大に向け是非具体的な目標を定め推進していただきたい。

高齢者が参加する勉強や各種の活動について、県下各地の方でも参加できるよう郡部でも開催してほしい。

高齢者でも元気な方が多いので、老人ばかりの街でも高齢者の様々な経験や知識、パワーを活用できたらなあと思います。

認知症になった高齢者に対する支援を充実して欲しい。

高齢社会を迎え、介護サービスの専門家を増やす。

徳島県は障害者の企業での雇用率が全国最低であると報道されましたが、県民として本当に恥ずかしい限りです。県や企業による積極的な雇用策を検討してください。

まちを歩いていると歩道と道路の少しの段差やビルに入るときの段差につまずく機会が多いので、障害者、高齢者や子どもが安心して生活できる環境整備が必要だと感じます。

県民の多くは、犬やネコなど動物の命を大切にするという意識が薄いのではないのでしょうか。ぜひ、県が率先して動物の愛護精神を涵養するような事業を積極的に行ってください。

徳島県の地域振興や地域活性化のために「徳島県地域振興基金」の設立

基本目標7「“にぎわい、とくしま”の実現に関すること(68件)」

徳島空港の滑走路を3000mに延長して アメリカ西海岸(サンフランシスコ、ロサンゼルス)、ヨーロッパ(ロンドン、フランクフルト、パリ、ローマ、リスボン)、オセアニア方面への国際チャーター便の運航、ソウル線(大韓航空、アジアナ航空)・北京線(中国国際航空)・上海(中国東方航空、上海航空)・台北(中華航空)・香港(キャセイ航空、香港ドラゴン航空)への国際定期便の就航

徳島 - 札幌線の運航期間の拡大、徳島 - 那覇線の新規航空路線の開設、徳島 - 東京線のダブルトラッキング化(全日空の徳島 - 東京線の運航再開)

徳島 - 東京線にボーイング777-200又はボーイング777-300の大型ジェット機の就航(東京 - 函館線、東京 - 富山線、東京 - 岡山線、東京 - 高松線、東京 - 松山線、東京 - 熊本線、東京 - 鹿児島線等)

地域おこしを目的として、AIR・DO、スターフライヤー、スカイネットアジア航空のような徳島 - 羽田間とを結ぶ地元航空会社の設立

政府の「アジア・ゲートウェイ構想」に基づき、徳島空港の国際空港化でアジアの国々の人・物・情報との成長と活力を徳島県の発展につなげる。併せて、徳島県の文化と魅力をアジアに向けて情報発信を行う。

徳島 - 東京間にフリーゲージトレイン方式による直通新幹線特急電車の運行

DMVの導入によるJR徳島駅 - 鳴門公園、JR徳島駅 - 美馬市脇町(旧国鉄バス・脇町駅)、JR徳島駅 - 鍛冶屋原、JR徳島駅 - かずら橋間の運行

四国環状高速道路のネットワークの構築

紀淡海峡連絡自動車道の実現

「とくしまベイエリア構想」の実現によって徳島を大阪又は神戸への通勤圏・通学圏にする。平成20年4月5日に徳島県、兵庫県、神戸市、本州四国連絡高速道路株式会社経済団体、その他の関係機関が協力して「神戸淡路鳴門自動車道全線開通10周年記念事業」の開催を行う。「神戸淡路鳴門自動車道」の道路名に愛称を公募する。また、大鳴門橋と明石海峡大橋との姉妹橋の締結を行う。

「徳島駅前バスターミナル」における高速バスのりばと路線バスのりばとの一体化による「バスのハブターミナル化」。「高速鳴門」における高速バスと路線バスのとの乗り継ぎの利便性の向上による「バスのハブターミナル化」。

徳島自動車道の上板BS(上板SA)、阿波BS(阿波PA)、三好BS(吉野川SA)を「高速バスの駅」として整備する。高松自動車道の鳴門西BS(鳴門西PA)を「高速バスの駅」として整備する。

徳島県が鳴門市、西日本高速道路株式会社、経済団体その他の関係機関との連携によって高松自動車道の鳴門西PAに併設予定の「ばんどうドイツ村ハイウェイオアシス構想」と一体化した「ばんどうドイツ村公園」の整備を行う。

コンテナ国際貨物定期航路の新航路の開設(天津、上海、台北・基隆、シンガポール等)

他県に移住した人が、ふるさと徳島に帰りやすいよう交通機関の整備をお願いします。

「IT立県とくしま」の実現のために情報拠点機能の強化。「とくしま地域情報センター」の開設。

NTT西日本の光Bフレッツ、STNetのPikara等の民間活力を利用した情報通信基盤整備の促進(光てれび、光電話、光ねっと)

「とくしま情報文化圏テレトピア構想」の徳島全県への拡大

「徳島全県光情報スーパーハイウェイ網」の構築

「コンピュータ・ユートピア構想」の実現

「徳島全県光CATV網ネットワーク構想」の実現に向けて徳島県とSKYPerfacTV又はJ:COMとの業務提携を行う。

県民生活を豊かにし情報量を増やす民間放送局の増局

基本目標7「にぎわい、とくしま」の実現に関すること(つづき)

関西のデジタルテレビ放送に対応するために徳島県、NHK徳島放送局、四国放送が「近畿広域地上デジタル放送普及促進会議」と「近畿広域地上デジタル放送推進協議会」に参加する。
徳島県東京情報センター及び徳島県名古屋情報センターの開設
国土交通省を中心とする「電子国土構想」や、総務省でも統合型GISの普及促進に取り組んでる。また一部の県では、県庁HPに電子地図や空中写真の各種情報を提供するGISマップが掲載されている。徳島県でも、県庁HPトップページにそうした各種GISマップを掲載し、オンデマンドな情報公開に努め、県内外に「徳島県」をアピールする必要がある。
徳島県が「天空の城ラピュタ」をモデルケースに「世界の楽園・世界の郷とくしま」を目指す。
「ヒューマン・リゾート とくしまの海と川と森」の全県展開
「国際・観光立県とくしま」の推進に向けて徳島県が国から「とくしま国際・観光構造改革特区」の認定を受けて、世界に開かれた徳島の国際観光交流の推進を図る。
徳島県を関西圏で「関西の奥座敷」として、東部圏域を首都圏で「徳島の湘南」として、南部圏域を首都圏で「徳島の伊豆」、「徳島の房総」として、西部圏域を首都圏で「徳島の信州」、「徳島の会津」として、それぞれ観光宣伝を行う。
「とくしま観光情報ステーション」を徳島自動車道の上板SA、高松自動車道の鳴門西PA、県内の「道の駅」に開設する。県内のコンビニエンスストア、ガソリンスタンドを「とくしま観光案内ステーション」に指定し、観光パンフレットの設置や観光情報の提供を行う。
コンビニエンスストアに徳島県産商品(阿波尾鳥や鳴門金時を素材とした商品)置いてもらって売り出しをしてはどうか。ゆくゆくは全国展開できる商品になるかもしれない。
徳島県とミニストップ、ファミリー・マート、サークルKサンクスとの間で県政情報の発信・観光情報の発信・県産品の販路拡大・災害時支援における包括協力協定の締結
徳島県がJR四国、JALセールス西日本徳島支店、JTB徳島支店、日本旅行徳島支店、近畿日本ツーリスト徳島支店等と連携して観光の振興を行う。
「四国霊場88ヶ所巡礼と遍路道」と高野山周辺地域を中心とした「紀伊山地の霊場と参詣道」との観光面での和歌山県、南海電鉄、南海フェリー、旅行会社等の広域連携
神山温泉、祖谷温泉、もみじ川温泉等を回遊する温泉周遊ルートの開発
徳島麴王国村の開村(徳島ラーメン、鳴門うどん、たらいうどん、祖谷そば、半田そうめん、三頭そば等)
「あすたむらんど徳島」と「東条湖おもちゃ王国」との提携によって「あすたむらんど徳島」の施設の充実を行う。
徳島を舞台にしたアニメ映画の誘致
「徳島ヴォルティス」を舞台にしたFIFA、日本サッカー協会、Jリーグ公認のサッカー映画を制作する。(例:「GOAL!」の映画)
テレビ東京の「田舎に泊めて」の伊座利や伊島等への誘致
NHKの大河ドラマや朝の連続ドラマの誘致
CRKラジオ関西の「奈月のハーバーカフェ」のバスツアーの徳島への誘致を行う。
「徳島映画祭」の開催・徳島をイメージする景観、風土、歴史等を用いた映像作品の企画募集・映画映像に関する映像塾(ワークショップ)の開催・出張上映会(シネマキャラバン)の実施・シネマフォーラムやシネマトークショーの開催・「全国フィルム・コミッション連絡協議会会議」の開催
徳島県が「東洋のハリウッド」を目指してユニバーサル・スタジオ・ジャパンと提携を行う。
「とくしま東洋のハリウッド事業」の一つとして高校生を対象にした「映画・甲子園inとくしま」を開催する。
「とくしまお接待・おもてなし日本一事業」の展開
国際園芸・造園博「ジャパンプローラ」の開催
農山漁村と都市とを結び地域活性化を行う「グリーン・ツーリズム」の実施
週末だけがかまわないので、核となる観光施設やウォーキング・ステーション的なポイントまでのバスなど公共交通便の整備をしてほしい。

基本目標7「にぎわい、とくしま」の実現に関すること(つづき)

各地の総合公園で、「民」の情報掲示規制を取り払い、各種スポーツショップや地域活動、NPOが提供するサービス、イベントを掲示できるインフォメーションブースやサテライトコーナーを開設・解放してほしい。

徳島空港を利用した首都圏又は東海圏からの修学旅行生の受入れの整備

「徳島ヴォルティス」と「マンチェスター・ユナイテッド」、「レアル・マドリード」、「バイエルン・ミュンヘン」との業務提携

「徳島ヴォルティス」を世界仕様、世界標準のチームにする。「徳島ヴォルティス」を世界のビッグ10のクラブチームにする。(浦和レッズ、FCバルセロナ、ACミラン、FCバイエルン・ミュンヘン等)

「徳島ヴォルティス」対「世界選抜チーム」との国際親善試合の開催 「徳島ヴォルティス」対「日本代表チーム」との親善試合の開催

「徳島ヴォルティス」のホームタウンの拡大

「徳島インディゴソックス」と「ボストン・レッドソックス」、「シカゴ・ホワイトソックス」との業務提携

徳島県内のすべての市町村に「徳島ヴォルティス」の後援会の組織及び「徳島インディゴソックス」の後援会の組織の設置

「ポカリスエットスタジアム」での「日本陸上競技選手権徳島大会」の開催

大型の総合公園だけではなく、今ある自然をそのまま温存しつつ、駐車場や駐輪場、シャワー(屋外のコック式の簡易なもの)などを整備してアウトドアスポーツを振興してほしい。

サッカーや野球だけでなく、多様な競技やフリースポーツを含め活性化できるムードと環境を作してほしい。このため、スポーツリーダーや自然フィールドを活用したスポーツを指導する人材の確保や養成が必要。また、観光とタイアップして各種スポーツもPRしてはどうか。

県、市町村、民間の各スポーツ施設に熟達したスポーツ・コンシェルジュ(案内人)、合宿コンシェルジュを配置する。これらをまとめ総合窓口化すれば、徳島県でいろんなバリエーションが生まれ、大きな効果が見込まれる。

NPOや個人のサイクルショップなどに呼びかけ、公共の公園でスポーツレンタサイクル事業、ガイドツアーなどを協働で行ってほしい。また、自転車をスポーツとしてとらえ、ヘルメット着用、交通ルール、マナーの啓蒙を行い、景観のすばらしい道に自転車が行ける幅の広い路肩の整備も必要。

空港や高速バス拠点で、レンタサイクルや各種スポーツなどを分かりやすく表現したポスターを掲示し、具体的なメニューと利用価格も表示してほしい。これらの情報報をインフォメーションできるスタッフを整備し、インフォメーションの営業時間も延長する。

徳島でスポーツしやすい環境を整え、スポーツガイドや指導サービスが仕事として成り立つよう施策を考えてほしい。また、スポーツにはリスクがつきものなので、保険や労働環境、託児所の整備などの面で、行政のフォローアップが必要。

行政が無料のスポーツ教室をすると、一般業者の方が参入しにくくなる。単発ならいいが、継続的なものは、かならず有料にして民間サービスが発達するように欲しい。

「徳島交響楽団」のプロ楽団化

その他(計画全般や長期ビジョンに関することなど) (2件)

人口減少が避けられない現状の中、数値目標の達成が難しい項目も一部に見受けられる。数値目標だけが一人歩きしないように、数値目標の達成を裏付けるための具体的な施策や支援策の提示が必要である。

「長期ビジョン編(案)概要版」において、第1~4節と「第5 具体的将来像(ビジョン)」の関係や、第5節の各項目間の相互関係、徳島県が何を目指し他県とどう違うものを目指すのかなど、ポンチ絵でも入れるなどもう少しわかりやすく説明されるとよいと思う。